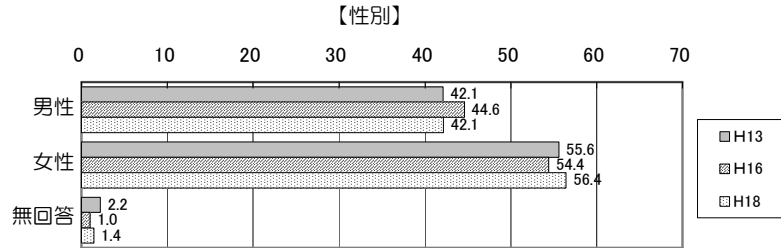


### 3 市民意識調査の回答者の特性



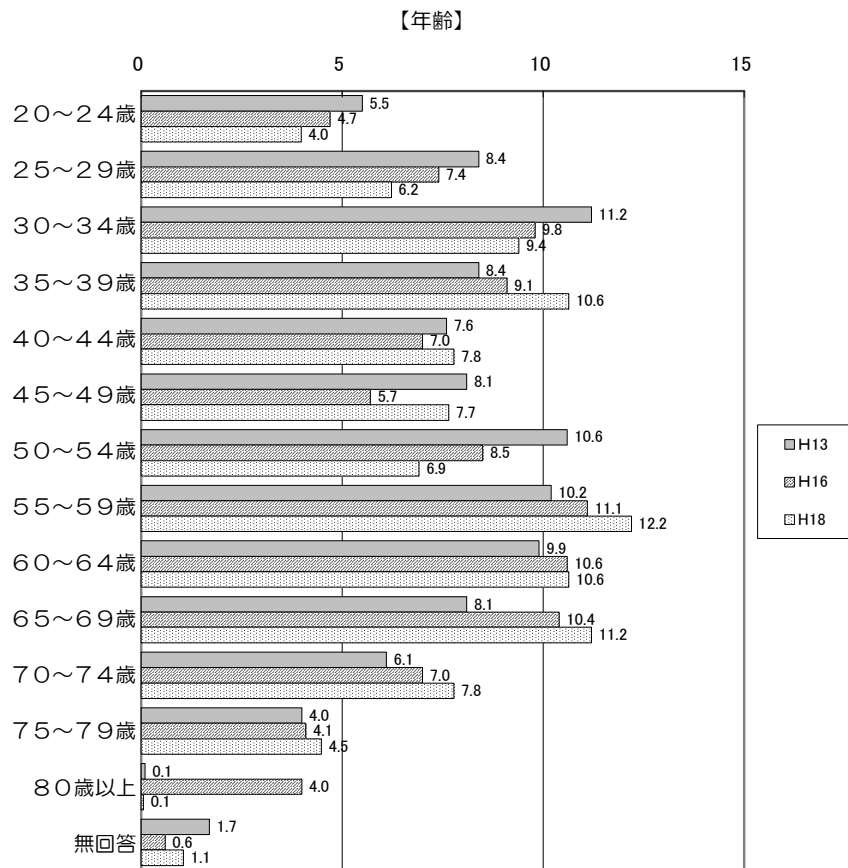
### 3-1 性別

性別をみると、“女性”の割合が高い結果となっている。



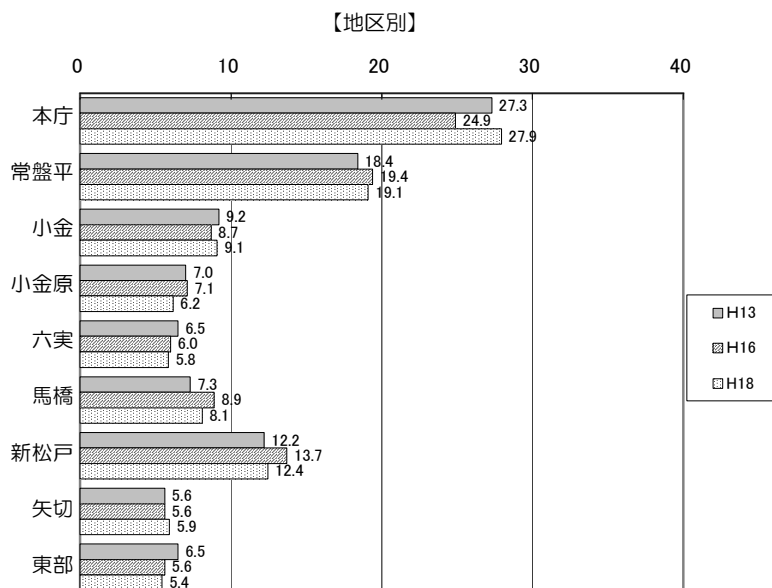
### 3-2 年齢

年齢は、前回、前々回に比べると“35～39歳”、“55～59歳”、“65～69歳”、“70～74歳”の割合が増加しており、“20～24歳”、“25～29歳”、“30～34歳”の割合は減少している。



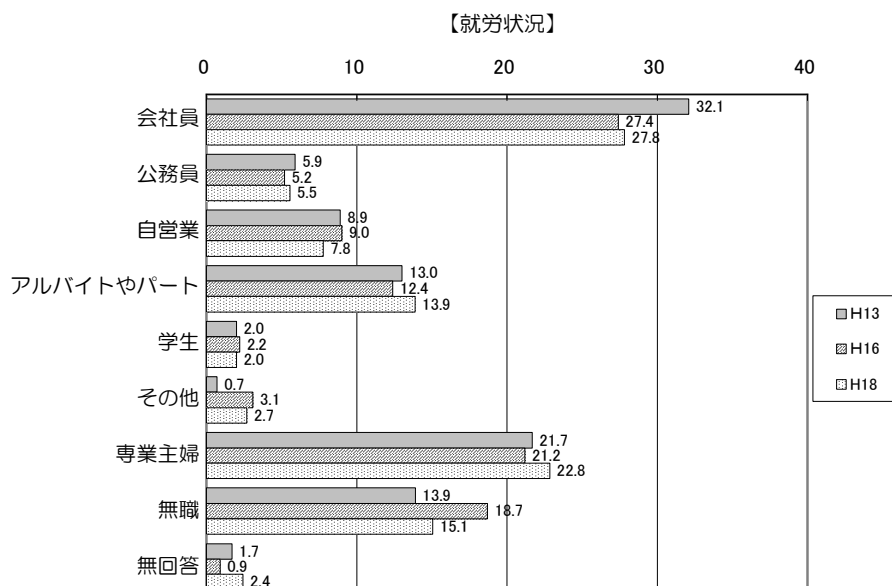
### 3-3 地区別

地区(支所管区)別では、“本庁”が3割弱と最も多く、次いで“常盤平”、“新松戸”となっている。前回の傾向もほぼ同様である。

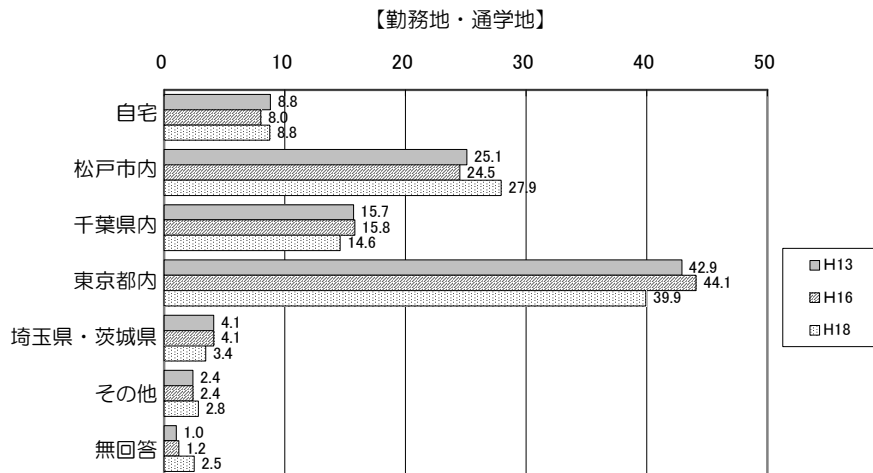


### 3-4 就労状況

就労状況は“会社員”が最も多く、次いで“専業主婦”、“無職”の順となっている。前回に比べると“無職”の割合が減っている。

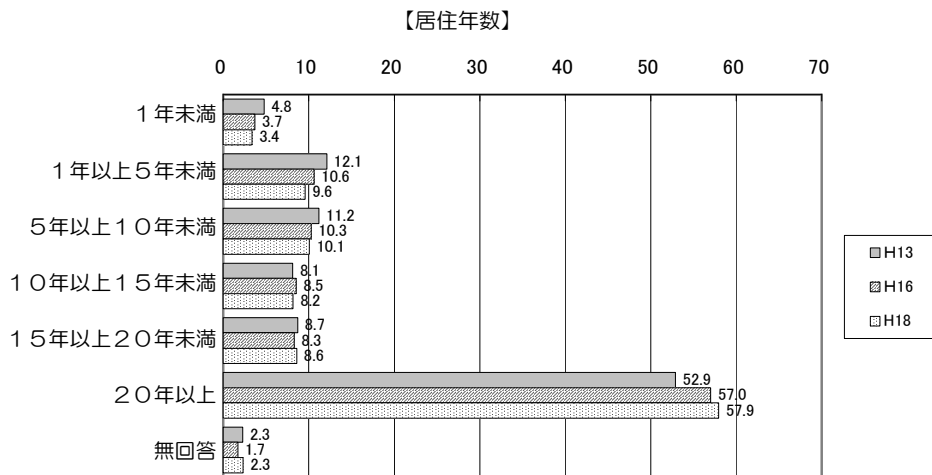


就労・就学している人の通勤地・通学地は、“東京都内”が最も多く、次いで“松戸市内”、“千葉県内”の順で続いている。前回に比べると“東京都内”がやや減少し、“松戸市内”が若干増加している。



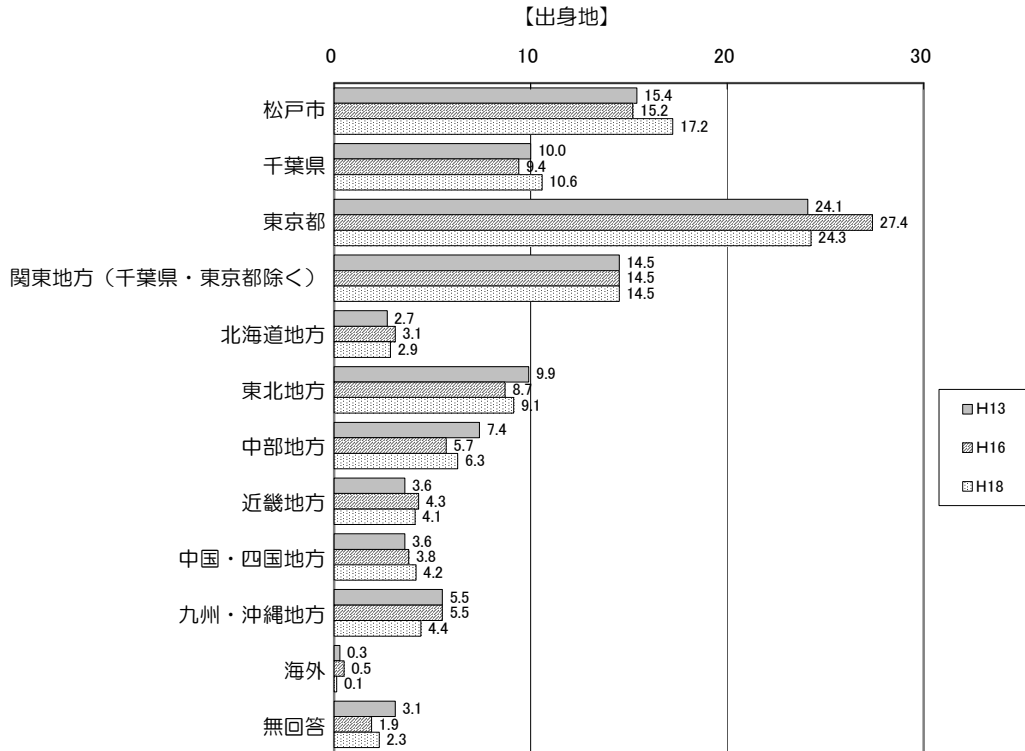
### 3-5 居住年数

居住年数については、“20年以上”が半数以上を占めている。前回と大きな差はみられない。



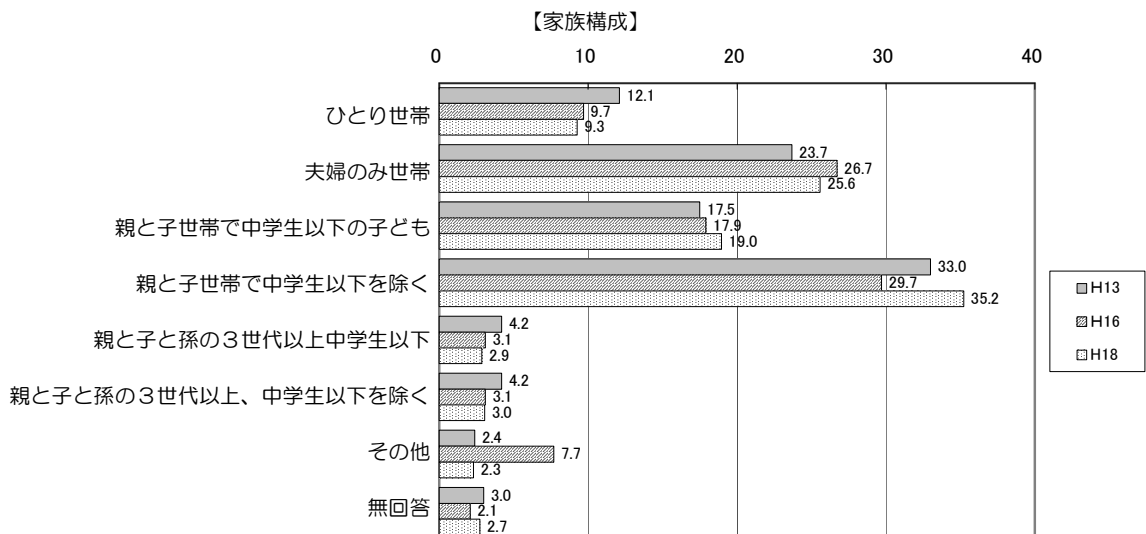
### 3-6 出身地

出身地については、“東京都”が最も多く、次いで“松戸市”、“関東地方(千葉県・東京都除く)”の順が続いている。前回との比較では、“東京都”がやや減少し、“松戸市”が僅かながら増加している。



### 3-7 家族構成

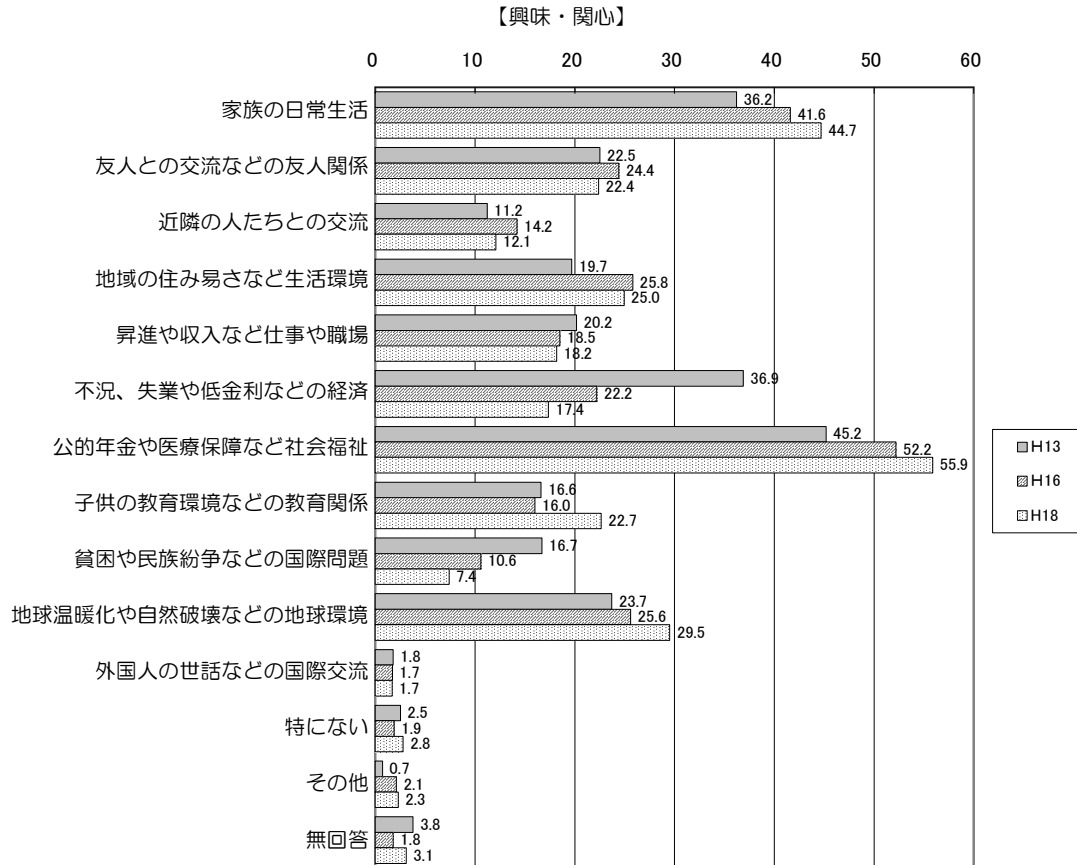
家族構成をみると、“親と子世帯で中学生以下を除く”が最も多く、次いで“夫婦のみ世帯”、“親と子世帯で中学生以下の子ども”の順となっている。前回との比較では、最も多い“親と子世帯で中学生以下を除く”が5ポイント程度増加している。



### 3-8 興味・関心（複数回答）

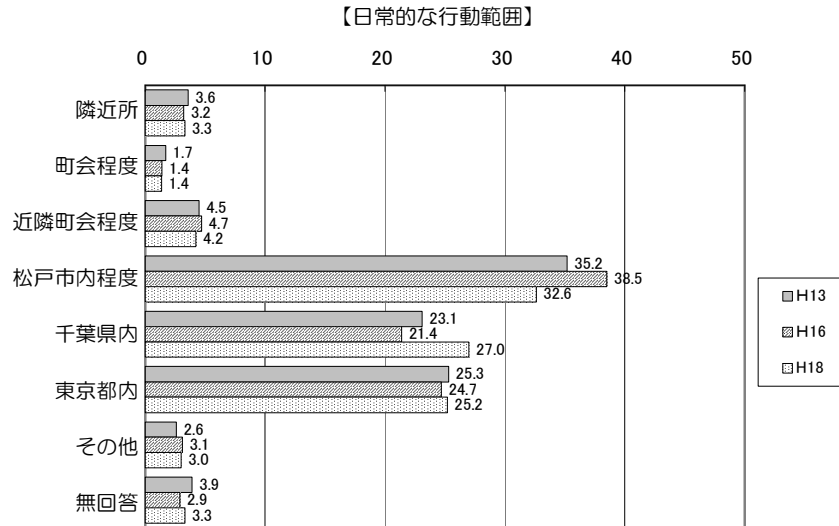
興味や関心については、“公的年金や医療保障など社会福祉”、“家族の日常生活”、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境”の順となっている。

前回、前々回との比較では、“公的年金や医療保障など社会福祉”、“家族の日常生活”、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境”、“子供の教育環境などの教育関係”が増加し、“不況、失業や低金利などの経済”、“貧困や民族紛争などの国際問題”が減少している。



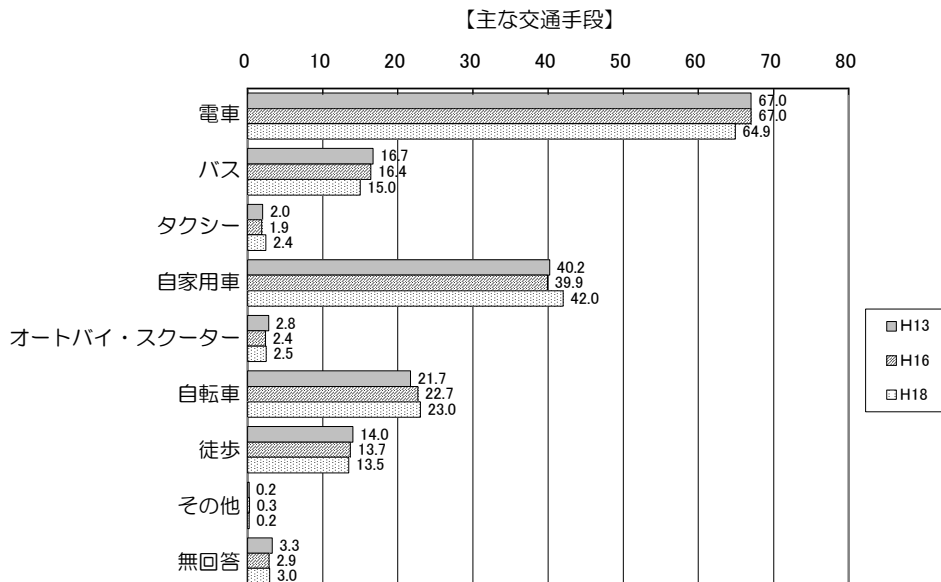
### 3-9 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲をみると、“松戸市内程度”が最も多く、次いで“千葉県内”、“東京都内”の順となっている。前回との比較では、“松戸市内程度”がやや減少し、“千葉県内”がやや増加している。



### 3-10 主な交通手段（複数回答）

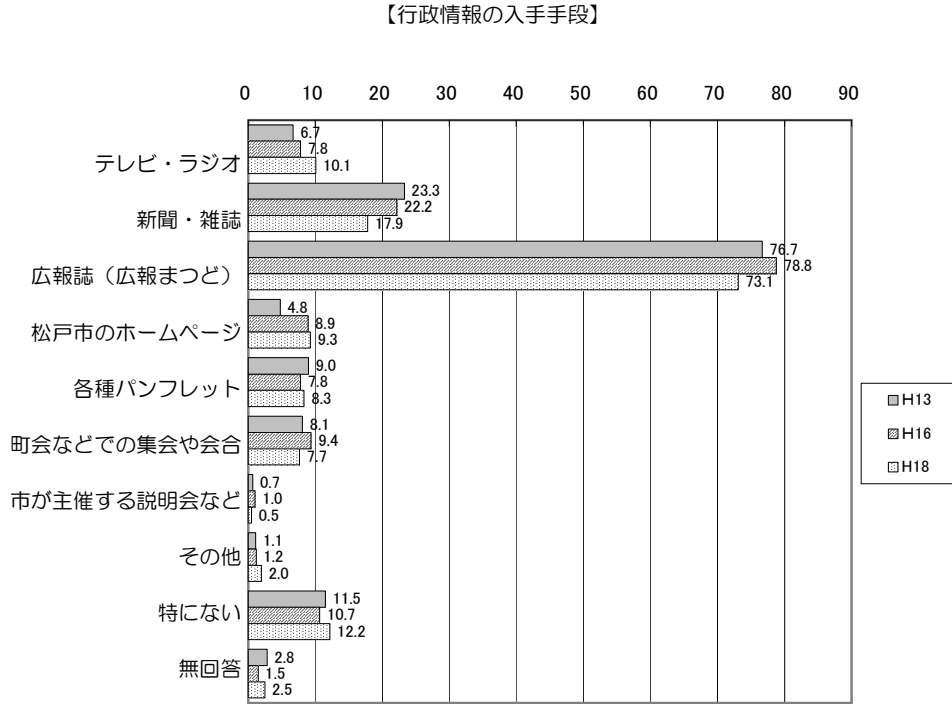
主な交通手段については“電車”が最も多く、“自家用車”、“自転車”がこれに続いている。前回との比較でもほぼ同様の傾向となっている。





### 3-1-1 行政情報の入手手段（複数回答）

行政情報の入手手段については、“広報誌（広報まつど）”が圧倒的に多くなっており、次いで“新聞・雑誌”があげられている。また、前回との比較でもほぼ同様の傾向であるが、“広報誌（広報まつど）”、“新聞・雑誌”がやや減少している。



### 3-1-2 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、「どちらとも言えない」が最も多く、次いで“あまり満足していない”となっている。前回との比較では、“まあまあ満足している”、“どちらとも言えない”が減少し、“あまり満足していない”、“ほとんど満足していない”など不満度が増加している。

